

第18回日本有病者歯科医療学会総会

プログラム・抄録集

第18回日本有病者歯科医療学会総会

総会長 倉科憲治

会期：平成21年4月25日(土)・26日(日)

会場：まつもと市民・芸術館

ご 挨拶

第18回日本有病者歯科医療学会総会

総会長 倉科憲治

第18回日本有病者歯科医療学会総会を2009年4月25、26日にまつもと市民・芸術館(松本市)で開催させて頂きます。この機会を与えていただき光栄に思い、会員の皆様に厚くお礼申し上げます。お陰さまで70題程の演題を応募頂きました。関係者の皆様、有り難うございました。

本学会は、歯科医療において特別の配慮やサポートを必要とする“いわゆる有病者”に安全な歯科医療を提供することができるようにすることが目的の一つと考えられます。また、本学会で得られた成果を日常診療の中で生かすために、広く情報を提供することも大切と考えられます。それにより、歯科医療を提供する側も受ける側も利益を蒙り、有病者のみならず国民の健康的な生活を維持することに役立つと考えられます。ほとんどがいわゆる有病者といえる高齢者が増加してきている現在、本学会の存在意義は大きいと思われまます。

第18回総会では健康的な生活を送るためにいろいろな方面から考えて見ようと計画を立てました。特別講演では、信州大学大学院医学研究科の能勢博教授に「10歳若返る！インターバル速歩の秘密」と題して講演していただきます。能勢教授の長年の研究により考え出されたインターバル速歩は、健康維持に有効であるとのことで注目されており、多くの自治体が地域住民の健康維持のためにこの方法を取り入れようとしております。明日からでも実践可能な健康維持方法についての話が聞けるものと思います。さらに、国民の健康維持や生活習慣病の予防に歯科医療が関われる可能性についても考える機会になるかと思ひます。また、併催する学術教育研修会では、信州大学医学部保健学科(基礎理学療法学)の木村貞治教授にご講演いただきます。演題は「保健と運動」ですが、専門の立場より健康と運動の関係について興味のある話を伺えると思ひます。木村教授は多くのオリンピッ

ク選手の体調管理に実績のある方です。教育講演では、信州大学医学部保健学科(成人・老年看護学)准教授の牛田貴子先生に「要介護高齢者の退院支援—家族との関わりを中心として—」と題して講演していただきます。牛田先生は高齢者医療において歯科医療の関与が重要であるとの認識をお持ちの方で、積極的に我々と関わっていただける方です。高齢者の介護には様々な問題がつきまといますが、成人・老年看護学を専門とする立場からの有意義な話が伺えると思います。

シンポジウムでは、口腔ケアを取り上げました。医療の中での口腔ケアの重要性については認識されていますが、実践して行くには様々なハードルがあります。今回は「口腔ケア—理想と現実」と題して医療現場で口腔ケアを取り入れる上での問題点を少しでも拾い出せればと考えました。日本口腔ケア学会理事長である鈴木俊夫先生を始め、医師、病院勤務歯科医、歯科衛生士、看護師の方々にそれぞれの立場で講演していただき、現在の医療現場での口腔ケアについて考えていきたいと思っています。

また、抗血栓療法患者に対する観血処置時の対応とビスフォスフォネート系薬剤関連の顎骨壊死について特別セッションを設けました。前者については獨協医科大学の今井 裕先生、後者については岡崎市民病院の山田裕敬先生に最近の話題を提供して頂くことに致しました。

例年ですと本学会は3月に行われますが、信州の3月にはまだまだ寒い日もあるということで4月に開催することにしました。4月後半は一年のうちでも最も信州らしい信州を楽しめる時期です。また、信州は海こそありませんが、おいしいものも沢山あります。水がよいので酒もおいしく、蕎麦も有名です。時期的には山菜のシーズンですし、周辺の観光地を訪れるにも良い時期です。多くの方々が学会に参加していただき実りある2日間を過ごし、春の信州を楽しんで帰っていただく様にと願っております。



ご挨拶

日本有病者歯科医療学会
理事長 白川正順

本学会総会・学術大会は例年、百花繚乱の4月に開催されます。ここ信州の地も春爛漫に華やいでおります。4月25日、26日の両日開催される第18回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会には全国から多くの先生方にご参集頂き厚く御礼申し上げます。

また、本学術大会の主管をお引き受け頂き、質の高い企画を盛りだくさん組んでいただきました信州大学口腔外科学教室倉科憲治教授ならびに準備委員長栗田浩准教授をはじめ準備にあたられた先生方に衷心より感謝申し上げます。

さて本学会は初代理事長園山昇名誉教授（日本歯科大学歯学部）、前理事長内田安信名誉教授（東京医科大学）によって超高齢化時代に伴う有病者（基礎疾患保有者）人口の急増を予見すると同時に有病者歯科治療体系の検討の必要性が唱えられ、平成3年4月27日に設立されました。今日、わが国は世界第一位の長寿国となり、基礎疾患に対する知識と歯科治療時の対処法、あるいは医科との強固な連携医療が必須なものになっております。

本学会がテーマとする課題の多くは医科との連繋あるいは情報交換、全身管理を基盤とするため、医科、歯科相互から発信された共通の有病者歯科診療ガイドラインを早急に構築する必要があります。有病者の安全医療が推進されるためには、本学会単独ではなく、関連学会である（社）日本口腔外科学会や日本老年歯科学会あるいは日本歯科麻酔学会と緊密な連繋をとりながら先ずは、有病者歯科患者の安全医療を推進する総論的なガイドライン作成を実現する必要があります。各論的には、「抗血栓療法患者の抜歯あるいは観血的処置に関するガイドライン」があげられますが、このテーマについてのガイドライン作成作業は着々と進んでおります。日常の有病者歯科臨床において切り離せない密着したテーマですので、医

科、歯科共通のコンセンサスを図るべく、先般2月28日「抗血栓療法患者の抜歯に対する医科・歯科のコンセンサスマーティング」が東京にて開催されました。また本テーマに関する実績としては、調査委員会（宮田勝委員長）では「抗血栓療法患者の抜歯など観血的処置について」全国実態アンケート調査を行い、本学会誌（第15巻3号）にすでに報告されていますが、これをベースにして、「抗血栓療法患者の抜歯におけるガイドライン」の作成プロジェクト推進委員会（扇内秀樹委員長）がワーキンググループを立ち上げ、このたびの学術大会においても中間報告される予定でございます。

このたびの学術大会は倉科憲治教授ならではの多くの企画が盛り込まれており、臨床の第一線で活躍されている信州大学大学院の能勢 博教授による特別講演をはじめとして、シンポジウムでは現場の口腔ケアの問題点など、臨床で直ぐに役立つ内容となっております。

参加された先生方におかれましては、併催の学術教育研修会も含めて実りある2日間であることを祈念すると同時に、明日の臨床への糧になることを心から願っております。

末尾では御座いますが、信州大学医学部口腔外科学講座の益々のご発展を心から祈念申し上げます。

日本有病者歯科医療学会総会開催記録

回	年 月	開催地	担当校・病院	会長
第1回	1992年2月	東京	町田市民病院	白川正順
第2回	1993年3月	東京	東京医科大学	内田安信
第3回	1994年2月	大阪	大阪歯科大学	上田 裕
第4回	1995年3月	横浜	鶴見大学	瀬戸暁一
第5回	1996年3月	山形	山形大学	吉澤信夫
第6回	1997年3月	東京	三井記念病院	寶田 博
第7回	1998年3月	松本	松本歯科大学	千野武廣
第8回	1999年3月	宇都宮	自治医科大学	赤坂庸子
第9回	2000年4月	熊本	伊東歯科医院	伊東隆利
第10回	2001年2月	横浜	鶴見大学	雨宮義弘
第11回	2002年2月	鹿児島	鹿児島市立病院	増田敏雄
第12回	2003年3月	東京	東京慈恵会医科大学	田邊晴康
第13回	2004年4月	川越	明海大学	坂下英明
第14回	2005年3月	名古屋	鈴木歯科医院	鈴木俊夫
第15回	2006年3月	岡崎	岡崎市民病院	山田祐敬
第16回	2007年3月	東京	東京女子医科大学	扇内秀樹
第17回	2008年4月	新潟	日本歯科大学新潟病院	佐野公人
第18回	2009年4月	松本	信州大学	倉科憲治
第19回	2010年4月	神戸	神戸市立医療センター 中央市民病院	田中義弘

参加者へのご案内とお願い

1. 学会参加のみなさまへ

1) 学会受付 (まつもと市民・芸術館)

平成21年4月25日(土) 午前8時30分から行います。

2) 参加費前納の方

参加章 (ネームプレート), 抄録集を忘れずにご持参ください。

なお, 参加章は学会会場では必ず着用してください。

未着用の方の入場はお断りすることがあります。

3) 参加費未納の方

受付にて, 当日参加費 10,000 円 (コメディカル: 4,000 円) をお納めください。

4) 入会希望の方

当日受付にて入会手続きを行っております。

演者ならびに共同演者は会員であることが条件となっていますので,

未入会の方は入会手続きをとってください。

【学会事務局】日本有病者歯科医療学会 事務局

〒115-0055 東京都北区赤羽西6-31-5 株式会社 学術社 内

TEL: 03-5924-3621 FAX: 03-5924-3622

5) 会場には駐車場 (有料) がありますが, 台数に限りがあるため公共交通機関をご利用ください。

2. 会 場

まつもと市民・芸術館

〒390-0815 松本市深志3丁目10-1 (<http://www.mpac.jp/>)

TEL: 0263-33-3800

総合受付: 2階 ホワイエ および 共有スペース

展 示: 2階 ホワイエ および 共有スペース

クローク: 2階 ホワイエ

学会本部: 中2階会議室

3. 一般口演される方へ

【プレゼンテーション】

1) 口演時間は6分, 質疑応答2分です。

2) 会場に用意した WindowsXP 搭載 PC (PowerPoint 2003) での発表となります。

3) 液晶プロジェクターを用いた PC による単写形式に限らせて頂きます。スライド映写機は準備しておりません。

4) OSは, Windows2000 以上に限定し, Mac の OS で作成した場合は, 必ず Windows で動作の確認を行ってください。

- 5) アプリケーションは、Microsoft Power Point で作成してください。
(使用するソフトは Microsoft Power Point 2003 です)
- 6) フォントは標準フォントのみ(推奨：MSゴシック，MS明朝，MS Pゴシック，MS P明朝，Osaka，Times)を使用してください。
- 7) 一般口演は、動画の使用ができません。
- 8) 発表セッションの1時間前(25日早朝分は30分前，26日早朝分は前日)までに、発表受付にて受付と、学会が準備したPCにてスライド動作の確認を行ってください。作成したPower Pointのバージョンによって文字やレイアウトにずれが生じる場合がありますので、必ず確認してください。
- 9) 次演者の方は時間になりましたら所定の席でお待ちください。
- 10) PCの操作は舞台上でお願いします。
- 11) レーザーポインタは大会事務局で用意します。

【データ提出】

- 1) プレゼンテーションのデータはCD-Rに記録し、2009年4月12日(日)までに下記総会事務局に郵送で送ってください。(必着)

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
信州大学医学部歯科口腔外科
日本有病者歯科医療学会総会・学術大会
準備委員会事務局 行

- 2) ファイル名は演題番号とフルネームの名前にし、CD-Rにはファイル名、演題番号、演題名、発表者名、所属を分かるように記入してください。
- 3) CDが期日までに届かない場合や、読み込み不能な場合には口演ができないこともあるため、発表当日は代替のメディア(USBメモリまたはCD-R)にデータを記録し持参してください。

【質疑討論】

質疑、討論は1題につき2分を予定しております。質問者は挙手にて座長の許可を得て、所定のマイクで必ず所属、氏名を明らかにした上でご発言ください。

【後抄録】

- 1) 当日、受付にて事後抄録(印刷物およびPCファイル)を回収いたします。
- 2) 演題番号、演題名、発表者名、発表者全員の所属機関、連絡先を表紙に明記してください。
- 3) 本文は2枚目以降とし、20字×20行、800字以内にまとめてください。
- 4) A4版に印刷したものを提出してください。
- 5) FDまたはCD-Rに上記内容を保存し、演題番号、所属、氏名を明記して提出してください。(WindowsまたはMacintoshいずれかのテキストファイル)

*お忘れの場合は1週間以内に hkurita@shinshu-u.ac.jp までE-mailにてお送りください。

4. 座長の先生方へ

- 1) 座長は担当セクションの10分前までに所定の席へ起こしてください。
- 2) 質疑、討論時間は1題につき2分です。定時進行にご協力をお願いいたします。

5. 役員会について

日 時：平成21年4月24日(金)

場 所：まつもと市民・芸術館 3階 (スタジオ2 および オープンスタジオ)

常任理事会	13時00分～14時30分	[スタジオ2]
各種委員会	14時30分～15時30分	[オープンスタジオ]
理 事 会	15時40分～17時10分	[スタジオ2]
評 議 員 会	17時10分～18時10分	[オープンスタジオ]

6. 総 会

日 時：平成21年4月25日(土) 11:00～12:00

場 所：まつもと市民・芸術館 (主ホール)

7. 学術教育研修会

日 時：平成21年4月25日(土)

場 所：まつもと市民・芸術館 (主ホール) 17:10～18:10

参加費：1,000円

- 1) 内容等は、プログラム・抄録集をご覧ください。
- 2) 参加費前納の方は、会場入り口で受付をお願いします。終了時に修了書をお渡しします。
- 3) 当日参加希望の方は、会場入り口で参加費の支払い(当日参加費1,000円)と受付をお願いします。修了証は終了時にお渡しします。

8. 一般会員懇親会

日 時：平成21年4月25日(土) 18:30～

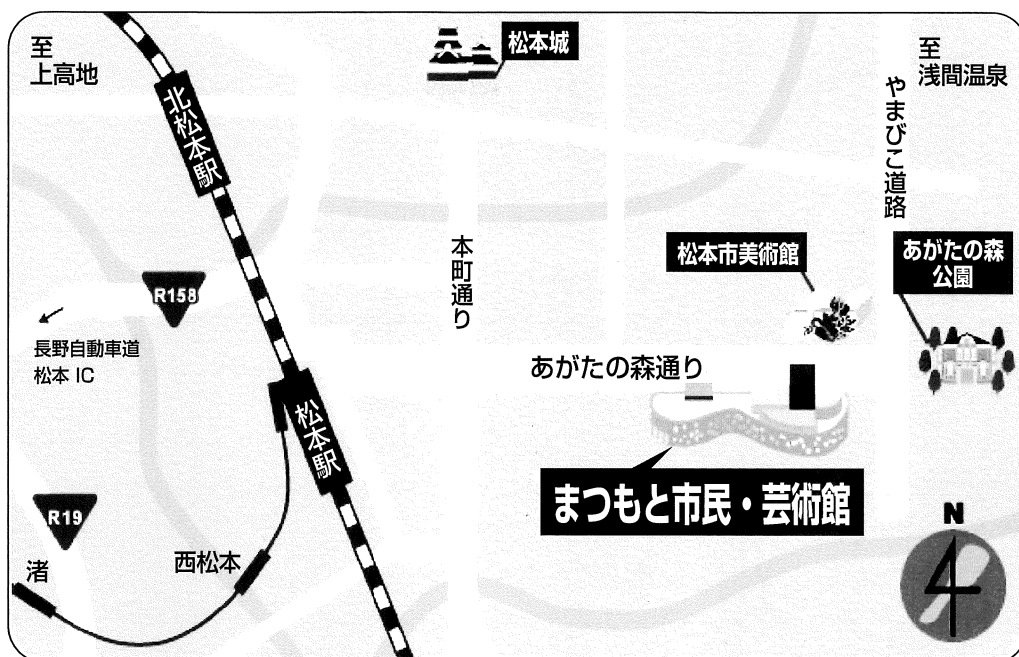
場 所：まつもと市民・芸術館 (芸術館レスト井 Say)

会 費：4,000円 (前納されていない方は、当日受付にてお支払いください。)
皆様のご参加をお願い致します。

9. その他

- 1) 各会場での呼び出しは総会受付にご連絡ください。
- 2) この学会は日本歯科医師会の生涯研修事業の認定を受けております。
平成20・21年度 日歯生涯研修事業分類3日歯生涯研修カードをご持参ください。

交通のご案内図



■ アクセス

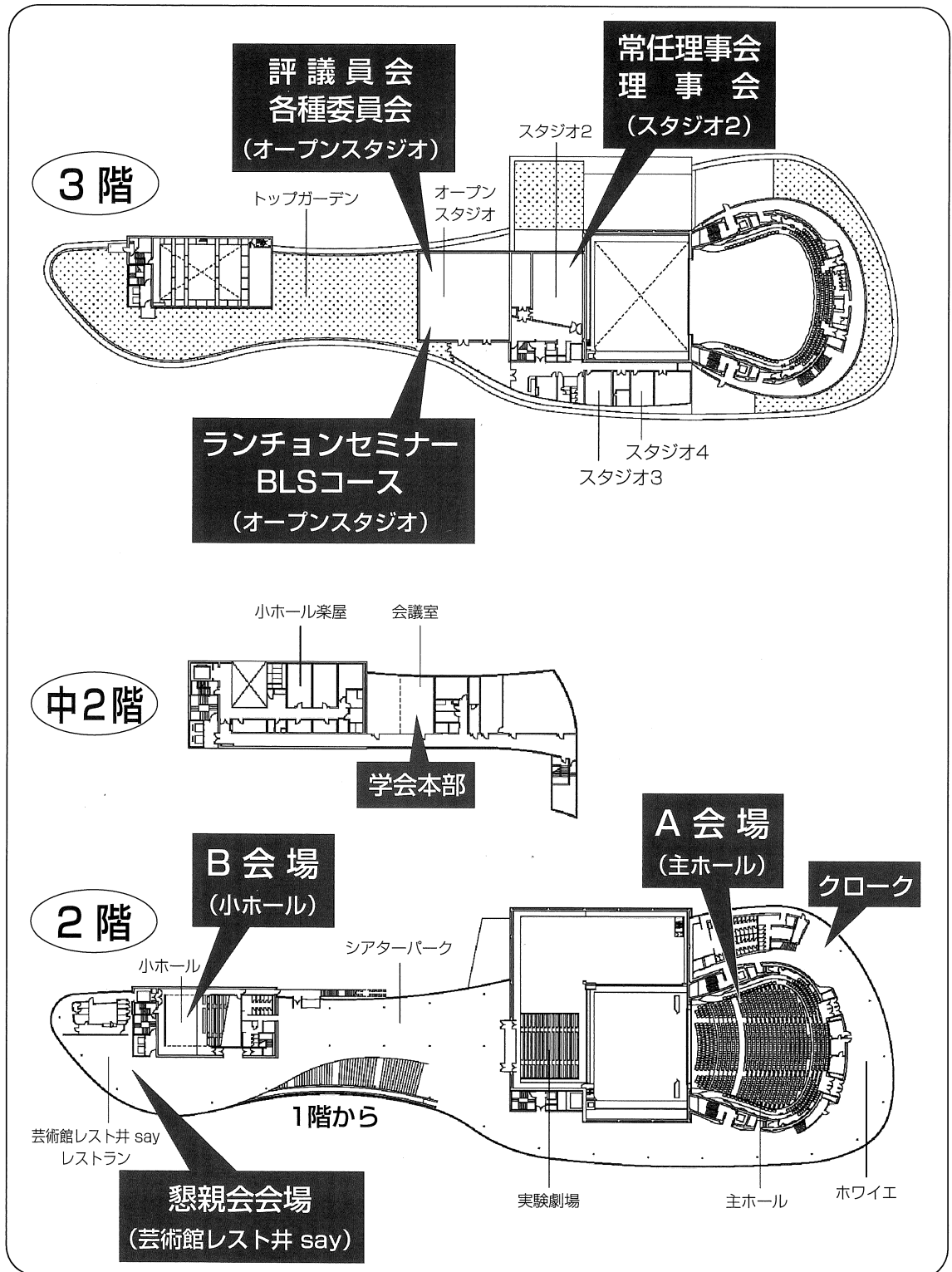
- ・長野県松本市深志3丁目10番1号
- ・JR中央線・篠ノ井線（松本駅より徒歩10分）

■ 車でご来館のお客様へ

駐車場の用意はございません。公共交通機関や有料駐車場をご利用ください。

- * 会場東裏に有料駐車場（アットパーク松本山源：125台）
100円／20分（8時～22時）以後100円／1時間がございます。

学会会場案内図



学会日程表／第1日目 4月25日(土)

A会場(主ホール/2階)	
9:00	開会の辞 総会長:倉科 憲治
9:10 9:42	一般セッション A1 A1-1～A1-4 座長:小谷順一郎
9:42 10:14	一般セッション A2 A2-1～A2-4 座長:渋谷 鉦
10:14 10:54	一般セッション A3 A3-1～A3-5 座長:草間 幹夫
11:00 12:00	総 会
12:00 13:00	昼 食 (ランチョンセミナー オープンスタジオ)
13:00 14:00	特別講演 『10歳若返る! 「インターバル速歩」の秘密』 信州大学大学院医学系研究科・ スポーツ医科学分野 教授 能勢 博 座長:白川正順
14:00 16:00	シンポジウム 『口腔ケア～理想と現実～』 シンポジスト: 日本口腔ケア学会 理事長 名古屋市 鈴木歯科医院 院長 鈴木 俊夫 順天堂大学医学部感染制御科学・細菌学 准教授 菊池 賢 市立砺波総合病院歯科口腔外科 部長 由良 伸也 山梨県歯科衛生士会 牛山 京子 信州大学医学部付属病院 集中治療部 集中ケア認定看護師 高尾ゆきえ 座長:足立了平・鈴木俊夫
16:00 16:24	一般セッション A4 A4-1～A4-3 座長:佐藤 泰則
16:24 16:56	パラメディカルセッション PM-1～PM-4 座長:田中 義弘
17:10 18:10	学術教育研修会 『保健と運動』 信州大学医学部保健学科理学療法専攻 教授 木村 貞治 座長:倉科 憲治

B会場(小ホール/2階)	
9:10 9:42	一般セッション B1 B1-1～B1-4 座長:松田 光悦
9:42 10:14	一般セッション B2 B2-1～B2-4 座長:千葉 博茂
10:14 10:54	一般セッション B3 B3-1～B3-5 座長:又賀 泉
12:00 13:00	昼 食 (ランチョンセミナー オープンスタジオ)
16:00 16:32	一般セッション B4 B4-1～B4-4 座長:見崎 徹
16:32 16:56	一般セッション B5 B5-1～B5-3 座長:植木 輝一

オープンスタジオ/3階	
12:00 13:00	ランチョンセミナー 『イトラコナゾールにおける 口腔カンジダ症治療の過去と未来 ～含嗽療法を中心に～』 独立行政法人国立病院機構 栃木病院 歯科・歯科口腔外科・小児歯科 医長 岩淵 博史

芸術館レスト井 say/2階	
18:30 20:00	懇親会会場

学会日程表／第2日目 4月26日(日)

A会場 (主ホール／2階)	
9:00 9:31	特別セッション1 抗血栓薬 特1-1～特1-3 座長：今井 裕
9:40 10:40	教育講演 『要介護高齢者の退院支援 ～家族との関わりを中心として～』 信州大学医学部保健学科 成人・老年看護学 准教授 牛田 貴子 座長：倉科 憲治
10:45 11:16	特別セッション2 ビスフオスフォネート製剤 特2-1～特2-3 座長：山田 祐敬
11:16 11:48	一般セッション A5 A5-1～A5-4 座長：朝波惣一郎
11:48 12:12	一般セッション A6 A6-1～A6-4 座長：伊東 隆利
12:15 12:25	閉会の辞 総会長：倉科 憲治

B会場 (小ホール／2階)	
9:00 9:32	一般セッション B6 B6-1～B6-4 座長：佐野 公人
10:45 11:17	一般セッション B7 B7-1～B7-4 座長：宮田 勝
11:17 11:41	一般セッション B8 B8-1～B8-3 座長：工藤 逸郎
11:41 12:13	一般セッション B9 B9-1～B9-4 座長：山根源 之

プログラム

第1日目 4月25日(土) / A会場(主ホール)

9:00 ~ 9:10 開会の辞 総会長：倉科憲治

9:10 ~ 9:42 一般セッション A1 座長：小谷順一郎

- A1-1 口腔外科手術におけるトレキテープ®の有用性
大阪歯科大学歯科麻酔学講座 大西杏奈他 (56)
- A1-2 救命救急に関するアンケート調査
(第1報：救命処置研修の現状について)
日本有病者歯科医療学会救命救急委員会 石井宏昭他 (57)
- A1-3 救命救急に関するアンケート調査
(第2報：偶発症等の現状について)
日本有病者歯科医療学会救命救急委員会 石井宏昭他 (58)
- A1-4 施行体位の違いによる腹部突き上げ法の比較
大阪歯科大学歯科麻酔学講座 讃岐拓郎他 (59)

9:42 ~ 10:14 一般セッション A2 座長：渋谷 鉦

- A2-1 感染性心内膜炎発症リスク患者の
歯科口腔外科観血処置時におけるクリニカルパス導入
獨協医科大学口腔外科学講座 中津川周生他 (60)
- A2-2 有病者の多数歯抜歯にパスを適応し
基礎疾患の憎悪をきたした1例
公立陶生病院歯科口腔外科 後藤明彦他 (61)
- A2-3 65歳以上の患者に対する全身管理の分析
～過去9年間(2000～2008)について～
日本大学松戸歯学部歯科麻酔・生体管理学講座 峯村麻由他 (62)
- A2-4 学生の全身管理に対する認識度
および理解度についてのアンケート調査
日本歯科大学新潟生命歯学部歯科麻酔学講座 秋山麻美他 (63)

10:14 ~ 10:54 一般セッション A3

座長：草間 幹夫

- A3-1 当科において過去 37 年間で取り扱った
悪性腫瘍 481 例の臨床病理学的、解剖学的検討
明海大学歯学部病態診断治療学講座口腔顎顔面外科学Ⅱ分野 井上 勝元 他 (64)
- A3-2 当科における悪性腫瘍患者の合併疾患に関する検討
信州大学医学部歯科口腔外科学教室 戸木田 怜子 他 (65)
- A3-3 高齢者に対する口腔癌放射線併用超選択動注化学療法
～後期高齢者症例を経験し～
防衛医科大学校歯科口腔外科 佐藤 泰則 他 (66)
- A3-4 口腔癌患者の治療において
PEG (経皮内視鏡的胃瘻造設術) が有用であった 1 症例
石川県立中央病院歯科口腔外科 高木 純一郎 他 (67)
- A3-5 重篤な慢性心疾患のため
手術困難とされた舌癌患者の治療経験
旭川医科大学医学部歯科口腔外科学講座 荒井 五織 他 (68)

11:00 ~ 12:00 総 会

12:00 ~ 13:00 昼 食 (ランチョンセミナー オープンスタジオ)

13:00 ~ 14:00 特別講演

座長：白川 正順

『10 歳若返る！「インターバル速歩」の秘密』

信州大学大学院医学系研究科・スポーツ医科学分野 教授 能 勢 博 (28)

14:00 ~ 16:00 シンポジウム

座長：足立了平・鈴木俊夫

『口腔ケアー理想と現実ー』

シンポジスト：

- 日本口腔ケア学会 理事長, 名古屋市 鈴木歯科医院 院長 鈴木 俊夫 (32)
- 順天堂大学医学部感染制御科学・細菌学 准教授 菊池 賢 (34)
- 市立砺波総合病院歯科口腔外科 部長 由良 晋也 (36)
- 山梨県歯科衛生士会 牛山 京子 (38)
- 信州大学医学部付属病院 集中治療部 集中ケア認定看護師 高尾 ゆきえ (40)

16:00 ~ 16:24 一般セッション A4

座長：佐藤泰則

A4-1 悪性腫瘍患者のカンジダ菌検出状況
～ 血清アルブミン値との関連について～

北九州市立医療センター歯科 原 ケイ子 (69)

A4-2 がん治療に関連した口腔内障害に対する多職種連携支援

国際医療福祉大学三田病院歯科口腔外科 母家正明他 (70)

A4-3 心臓血管外科手術症例の

術前口腔ケアによ術後 CRP 上昇は抑制される

松原徳洲会病院歯科口腔外科 末松基生他 (71)

16:24 ~ 16:56 パラメディカルセッション

座長：田中義弘

PM-1 当院における病棟での口腔ケアの現状と課題

佐久市立国保 浅間総合病院歯科口腔外科 大塚縫子他 (72)

PM-2 施設における口腔ケアの取り組み

社会福祉法人孝明 介護老人保健施設孝松館 リハビリテーション課 上野洋子 (73)

PM-3 放射線治療中の頭頸部がん患者における口内有害反応の
実態と食事提供のあり方

信州大学医学部附属病院東2階病棟 柴 美保他 (74)

PM-4 口腔癌術後早期の摂食嚥下機能について

信州大学医学部附属病院リハビリテーション部 小野田聡子他 (75)

17:10 ~ 18:10 学術教育研修会

座長：倉科憲治

『保健と運動』

信州大学医学部保健学科理学療法学専攻 教授 木村貞治 (44)

18:30 ~ 20:00 懇親会 (芸術館レスト井 say)

第1日目 4月25日(土) / B会場(小ホール)

9:10 ~ 9:42 一般セッション B1

座長：松田 光悦

B1-1 Rett 症候群患者の歯科治療経験

旭川医科大学病院歯科口腔外科学講座 岡久美子他 (78)

B1-2 Fechtner 症候群における外科的治療経験

日本歯科大学新潟病院口腔外科 佐藤英明他 (79)

B1-3 口内炎を主訴に発見したトゥーレット症候群の一例

相模原協同病院歯科口腔外科 高田典彦他 (80)

B1-4 Lennox-Gastaut 症候群患者への全身麻酔経験

日本歯科大学附属病院歯科麻酔・全身管理科 安斉昌照他 (81)

9:42 ~ 10:14 一般セッション B2

座長：千葉博茂

B2-1 ICD 植え込み患者の抜歯経験

東京女子医科大学医学部歯科口腔外科学教室 夫馬吉啓他 (82)

B2-2 当科における心身障害者施設に対する歯科的管理の検討

佐久市立国保 浅間総合病院歯科口腔外科 藤森 林他 (83)

B2-3 HIV 感染患者に対するインプラント治療の2例

東京医科大学医学部口腔外科学講座 青木美穂子他 (84)

B2-4 口腔カンジダ症を契機に

歯科で診断し得た HIV 感染症の1例

石川県立中央病院歯科口腔外科 宮田 勝他 (85)

- B3-1 入院下に抜歯を行った血液疾患患者の臨床的検討
東京女子医科大学歯科口腔外科教室 福澤 智他 (86)
- B3-2 抗リン脂質抗体症候群患者の抜歯経験
医療法人社団北斗 北斗病院歯科口腔外科
北海道大学大学院歯学研究科口腔病態学講座口腔診断内科学教室 阿部 貴洋他 (87)
- B3-3 歯肉出血および抜歯後出血を契機として明らかとなった
腰部大血管腫による慢性 DIC の 1 例
独立行政法人国立病院機構岡山医療センター歯科口腔外科 角南 次郎他 (88)
- B3-4 抜歯後出血を契機に発見された骨髄異形成症候群の 1 例
海老名総合病院歯科・口腔外科 津島 文彦他 (89)
- B3-5 特発性血小板減少性紫斑病小児患者に対する
顎骨内嚢胞開窓術の治療経験
日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学第 2 講座 佐久間 要他 (90)

12:00 ~ 13:00 昼 食 (ランチョンセミナー オープンスタジオ)

- B4-1 糖尿病患者における歯周病と動脈硬化の関係
～脈波伝播速度 (PWV) を用いた解析～
神戸市立医療センター中央市民病院歯科口腔外科 岡田 達朗他 (91)
- B4-2 世界糖尿病デーイベント時に行った糖尿病と
歯周病の関係性に関する患者意識調査について
独立行政法人 労働者福祉機構 関東労災病院歯科口腔外科 住本和歌子他 (92)
- B4-3 歯科医院で糖尿病を疑い内科紹介を行った症例について
医療法人赤坂会北戸田デンタルクリニック 宝 諸 敬 史他 (93)
- B4-4 糖尿病患者の Bell 麻痺に対して
Stennert 改良法にて治療を行った 1 例
医療法人社団全仁会高木病院口腔外科 鈴木 円他 (94)

B5-1 血液透析中の患者に生じた頸部壊死性筋膜炎の1例

春日部市立病院口腔外科 武田秋生他 (95)

B5-2 下顎臼歯部抜歯後に重症菌性感染を起こした
重症心身障害者の一例

松本歯科大学障害者歯科学講座 隅田佐知他 (96)

B5-3 舌骨骨折を伴った多発外傷の1例

東京女子医科大学東医療センター歯科口腔外科 小野沢基太郎他 (97)

第2日目 4月26日(日) / A会場(主ホール)

9:00 ~ 9:31 特別セッション1 抗血栓薬 座長：今井 裕

- 特1-1 抗血栓療法患者における歯科治療—特に観血的処置に対する
ガイドライン作成に関する経緯と中間報告
日本有病者歯科医療学会・抗血栓療法ガイドライン推進選定部会 今井 裕他 (100)
- 特1-2 当科1年間における抗血栓療法患者の
歯科観血処置に関する検討
日本海総合病院歯科口腔外科 柴田 肇他 (101)
- 特1-3 抗凝固および抗血小板療法中に自然歯肉出血をきたした
患者に対しヘパリン療法に変更後多数歯抜歯を施行した1例
社会保険紀南病院口腔外科 井上 玲他 (102)

9:40 ~ 10:40 教育講演 座長：倉科 憲治

『要介護高齢者の退院支援—家族との関わりを中心として—』

信州大学医学部保健学科 成人・老年看護学 准教授 牛田 貴子 (48)

10:45 ~ 11:16 特別セッション2 ビスフォスフォネート製剤 座長：山田 祐敬

- 特2-1 ビスフォスフォネート系薬剤と顎骨壊死 (BRONJ)
～取り組みの経緯と広報活動の必要性～
岡崎市民病院歯科口腔外科 山田 祐敬 (103)
- 特2-2 ビスホスホネート製剤投与患者に対する医療連携の現状
財団法人倉敷中央病院歯科 窪田 稔 (104)
- 特2-3 歯科診療所におけるビスフォスフォネート製剤に関連した
顎骨病変に関するアンケート調査
九州歯科大学口腔顎顔面外科学講座病態制御学分野 國領 真也他 (105)

A5-1 外科処置を行った

ビスフォスフォネート製剤による顎骨壊死の5例

慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室 矢郷 香他 (106)

A5-2 当院で加療した内服ビスフォスフォネート製剤関連

顎骨骨髓炎・壊死2例について

西部島根医療福祉センター歯科口腔外科 三島 宏一 (107)

A5-3 当科におけるビスフォスフォネート製剤投与患者にみられた

顎骨骨髓炎—顎骨壊死の症例について

沖縄県立中部病院歯科口腔外科 藤井 信男 (108)

A5-4 ビスホスホネート投与前に抜歯した部より

顎骨壊死が生じた1例

東京医科大学口腔外科学講座 浅岡 絵美他 (109)

A6-1 ITPを有するビスホスホネート服用患者の抜歯経験

東京医科大学口腔外科学講座 高梨 紘子他 (110)

A6-2 ビスフォスフォネート服用患者に生じた粘膜壊死の1症例

総合病院国保旭中央病院 飛嶋 大作他 (111)

A6-3 高齢者脳性麻痺患者に埋入したインプラントの長期観察例

町田市民病院口腔外科 玉城 和弥他 (112)

A6-4 習慣性顎関節脱臼に対し関節結節切除術を施行した2例

独立行政法人国立病院機構長野病院歯科口腔外科 北岡 祐美他 (113)

第2日目 4月26日(日) / B会場(小ホール)

9:00 ~ 9:32 一般セッション B6

座長：佐野 公人

- B6-1 小・中学校教諭の心肺蘇生法に対する認識調査
横浜市緑区歯科医師会 相原 義 憲 他 (116)
- B6-2 巨大ブラを有する患者の麻酔経験
大阪歯科大学歯科麻酔学講座 木下 郁 恵 他 (117)
- B6-3 エアウェイスコープによる気管挿管ができなかった症例
日本歯科大学新潟生命歯学部歯科麻酔学講座 永合 徹 也 他 (118)
- B6-4 マスク麻酔による小児の全身管理症例について
日本歯科大学新潟生命歯学部歯科麻酔学講座 永合 徹 也 他 (119)

10:45 ~ 11:17 一般セッション B7

座長：宮田 勝

- B7-1 アルツハイマー型老年認知症患者における歯科治療を目的とした
行動調整に Oral sedation と静脈内鎮静法を併用した1症例
日本歯科大学附属病院歯科麻酔・全身管理科
日本歯科大学生命歯学部歯科麻酔学講座 篠原健一郎 他 (120)
- B7-2 群馬大学病院歯科口腔外科の初診患者における全身合併疾患
群馬大学大学院医学系研究科・顎口腔科学分野 久保田文隆 他 (121)
- B7-3 感染性心内膜炎を繰り返した
Von Reckling-hausen 症を伴う歯周病の1例
自治医科大学歯科口腔外科学講座 川嶋 理 恵 他 (122)
- B7-4 僧帽弁置換術前の抜歯依頼に対して全身管理を行った症例
日本大学松戸歯学部歯科麻酔・生体管理学講座 福田 貴 介 他 (123)

- B8-1 末期慢性腎不全, 真性赤血球増加症患者の
顎関節突起骨折の1例

福岡大学病院歯科口腔外科学講座 青柳直子他 (124)

- B8-2 矯正治療のみで改善しえた末端肥大症に伴う咬合不全の1例

埼玉医科大学医学部口腔外科学教室 中本紀道他 (125)

- B8-3 転移性多臓器癌患者に発生した術後性上顎嚢胞の治療経験

明海大学歯学部病態診断治療学講座口腔顎顔面外科学分野2 岡本英里他 (126)

- B9-1 老年期うつ病患者の舌切断による自殺企図の1例

獨協医科大学医学部口腔外科学講座 土肥 豊他 (127)

- B9-2 妊婦に発生した頬粘膜肉芽腫の1例

日本大学医学部歯科口腔外科 佐藤 匡他 (128)

- B9-3 鎖骨下静脈狭窄を有する顎変形症患者の治療経験

日本歯科大学大学院新潟生命歯学研究科

顎口腔病学分野全身関連臨床検査学 上田 潤他 (129)

- B9-4 周術期の抗凝固療法をワルファリンからヘパリンに変更し
抜歯を行った弃置換術後・SLE・パニック症候群を有する
患者の1例

自治医科大学歯科口腔外科学講座 小澤通子他 (130)